

マ ガレット マルカス 米国出身の元ユダヤ教徒 (5/5)

:

明:ユダヤ教徒へのイスラ ム宣教、そしてマ ガレットの人生におけるイスラ ムの影 について。

目:[事新改宗者ムスリムの逸 女性](#)

より: マ ガレット マルカス

E05 May 2014

集日 05 May 2014

Q:これまで他のユダヤ教徒たちとイスラ ムについて す 会はあり

A:一つ、印象深い出来事として、あるユダヤ教徒の 士とイスラ ムについて し合うことのできた 会がありました。ニュ ヨ ク イスラミック センタ の、ショレイバ博士が特 に来客者に私を 介してくれたときの事です。ある金曜礼 の 、私はイスラ ムについて するために彼のオフィスを れたのですが、私が「アッサラ ム アライクム」と挨拶しようとするやいなや、彼の前にもみ上げを伸ばし、 いつばをした 帽を被り、 いシルクのカフタン 衣をまとい、ふさふさした い 髭を生やした超正 派であるハシディ ム派ユダヤ教徒が座っていたのです。彼の腕には、イディッシュ の新 The Daily

Forwardが挟まれていました。彼はサミュエル コステルウィッツと名 り、ニュ ヨ ク市でダイヤ切りとして いていると言いました。彼曰く、彼の家族の大半はブルックリン ウィリアムズバ グのハシディ ム派コミュニティに住んでいるとのことでしたが、イスラエルにも多くの 戚や友人たちが住んでいるとのことでした。ル マニアの村で生まれた彼の家族は、第二次世界大 が勃 する直前、ナチスによる迫害を逃れてアメリカに移り住んだのだと言いました。私はどうして彼がモスクに来たのか いてみました。彼は5年前に母 を亡くして以来、耐え い程の悲しみに明け暮れていることを告げました。彼はシナゴ グで、悲しみの慰めや しとなるものを求めたそうですが、ウィリアムズバ グにおける超正 派のコミュニティでさえ、多くの 知らずの 善者たちがのさばっていること

を知った彼は、そうすることも出来ませんでした。最近イスラエルへ旅したことは、彼をこれまでになく激しく幻 させました。彼はイスラエル人の信仰心の さにショックを受け、若いサブラ（イスラエル出身者）たちのほぼ全 が好 的な 宗教者だったことを私たちに告げました。彼が れたキブツィ ム（集合 ）で豚の大群を目にしたとき、彼はぞっとしてこう声を上げたそうです。「ユダヤ教国家に豚とは！ ここに来るまで、こんなことがあるとは思っても なかった！」彼は私たちにこう言いました。「そしてイスラエル在住の罪のないアラブ人たちへの残虐な仕打ちを目 した私は、イスラエルとナチスには いなどないことを 信じたのです。神の名において、そうした恐ろしい犯罪を正当化することは、私には して、 して出来ませんでした！」それから彼はショレイバ博士の方を向き、彼がムスリムになりたいということ を えましたが、正式に改宗するという りできない一 を踏み出す前に、イスラ ムの知 をもっと得たいということでした。彼はオリエンタリア 店でアラビア 文法の本を 入し、アラビア を独学していたと言いました。彼は自らのたどたどしい英 について私たちに 罪しました。イディッシュ が彼の第一言 で、ヘブライ が第二言 だと言いました。彼らの では、家族や友人 でイディッシュ のみが使われていたそうです。彼は英 を むことが殆どできなかったため、良 のイスラ ム文献に当たることができませんでした。英 辞典を使い、彼がそれまで んだ中でも最も素晴らしい本だったと称 する、パリのムハンマド ハミ ドツラ 著「イスラ ム概 」を苦 して んだそうです。ショレイバ博士同席のもと、コステルウィッツ氏とさらに一 を ごし、バイブルにおける 老 言者の逸 と、クルア ンのそれを比 しました。私はノアの泥 、ダビデの 通、ソロモンが多神崇 したとされる、バイブルの矛盾 改ざん部分を指摘し、そしてクルア ンがそれらの 老たちを正式な 言者たちの に上げ、神がそれらの犯罪から彼らを ざけたのだということ を 明しました。また私は、神がアブラハムに 牲として捧げることを命じたのは、なぜイサクではなくイシュマエルだったのかについて 明しました。バイブルで神はアブラハムにこう告げます。「汝の息子、汝の するただ一人の息子を れ、彼を燔祭としてわれに捧げるのだ」イシュマエルはイサクの13年前に生まれましたが、ユダヤ教バイブルの注解者たちは、イシュマエルの母であるハガルがアブラハムの妾に ぎず、正式な妻ではなかったと言って彼女の地位を め、イサクこそがただ一人の正当な息子であると主 するのです。しかしイスラ ムの 承において、ハガルはサラ同 、正式な妻としての地位を得ています。コステルウィッツ氏は私に

、い を やしてくれたこと、そしてそれらの真 について教えてくれたことに して深い感の念を表してくれました。その 意を表すため、彼はショレイバ博士と私を彼の行きつけのコ シェル デリ (ユダヤ教の食戒律に ついた食堂) での昼食に うとって りませんでした。コステルウィッツ氏は、何よりもイスラ ムに改宗したいと私たちに言いましたが、彼の家族や友人たちから受けることになる迫害に耐えることが出来ないようになることを怖れていました。私は彼に神による助力を祈るよう言い、彼はそれを 束しました。彼が去ると、私は彼のような 士的で 切な人物と会 が出来たことを光 に思いました。

Q:イスラ ムがあなたの人生に与えた影 とは何でしょうか？

A:イスラ ムによって、 的 を求める私の探求心は たされました。私はイスラ ムから、真 善 良で美しいもの、そして人の生死に意 と指 を与えるものを いただきましたが、他の宗教において真 は歪曲され、制限され、断片的にか いたせません。どうやってそれを知ることが出来たのかと かが うのであれば、私にはそれが 人的に人生の教 から学び、 信を得たものであるとしか言うことが出来ません。それゆえ、私がイスラ ムの信仰に おう と思ったのは、冷静ながらも い信念の伴ったものでした。私はイスラ ムというものを知る前から、 の面では常にムスリムであり けてきたと思っています。私の改宗は、自らの心持ちを根本的に えてしまうようなものではなく、 年に渡って想い け、切望し けてきたものをおおやけなものとする、主に形式上の手 きに ぎないことだったのです。

典 : The Islamic Bulletin, San Francisco, CA 94141-0186

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/122>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。